

ユルとアラ

マモレ川でのお話

Eva Lucía Bayarri and Juvitina Galán



ユルとアラ

アモレ川でのお話

作者：エバ ルシア バヤリ

イラスト：ジュビティナ ガラン

英語から日本語への翻訳：青山 己織
(あおやま みおり)

日本語監修：つる 詳子（しょうこ）

科学的監修

クラウディオ R. M. バイグン博士と
ポール・ヴァン・ダム博士

BV
ediciones

自由に流れる川に捧げる

2020年版文章：エヴァールシア-バヤリー-クラリアナ
2020年版イラスト：ボカ・アバホ・エジシオネス
2020年版編集：ボカ・アバホ・エジシオネス

初版：2020年8月

英語から日本語への翻訳：青山 己織（あおやま みおり）
日本語監修：つる 詳子（しょうこ）

ISBN: 978-84-122711-5-7

BOCA ABAJO EDICIONES, S.L.
46010 Valencia
www.baediciones.com
bocaabajob@baediciones.com

Boca Vbajo
ediciones



ボカ・アバホ・エジシオネス S.L.の書面による事前の同意なしに、その内容の全部または一部を、表紙のデザインを含めて複製したり、電子的、機械的、化学的、光学的装置で保存、送信、処理したり、記録したりコピーしたりすることは禁止されています。

ボカ・アバホ・エジシオネスS.L.によって出版

この本は「ワールドフィッシュマイグレーションデー / WFMD2020」と自由に流れる川のために書かれました。私たちは、我々が学んだ知識が世界をより良くすることを願って、この活動に参加しています。

＊ワールドフィッシュマイグレーションデー：魚の移動を守るための行動を、世界で一斉に行う日のことです。

「ワールドフィッシュマイグレーション財団（WFMF）」は、活動を通して出会った我々と志を共にする全ての人達のインスピレーションの源となっています。



ユルはコンゴウインコです。ボリビアで生まれました。ユルは
あざやかな色の羽根を見せびらかしながら飛びます。メスの気
を引きたいのです。ユルはマモレ川の近くのキナノキの枝にと
まりました。

「やあ！ インコくん！」

ドラドナマズがユルに話しかけました。

「ブラッキー！ 帰って来たのかい？」と、ユルは答えると、そのまま話を続けました。

「このまえ君に会ったとき、君はすごく心配そうに見えたから、僕は君がまたここに帰ってくるか、心配したんだ。」

「それがね、何も心配するようなことはなかったよ。あの怖いナマズの仲間のカンディルでさえ、マデイラ川からイチロ川まで、僕の邪魔はしなかったよ」





「僕は、イチロ川のものすごく早い流れをのりきったんだ。大きな
挑戦だったよ。それはね、僕の子供たちにとっても人生という旅の
申し分のない始まりなんだ。子供たちはボリビアのイチロ川とアモ
レ川からブラジルのマデイラ川とアマゾン川へと旅をしなければな
らないからね。アンデス山脈から大西洋への旅なんだ。」
「ブラッキー！君はもうこの川を泳ぐ達人じゃないか！なのにどう
してそう元気がないんだい？」
「僕はそこでメスのドラドナマズと出会うはずだったんだ。そこで
子供をつくるはずだったのに。僕は川のメッセージを勘違いしたの
かなあ？」



「どんなメッセージ？」とユルは聞^ききました。

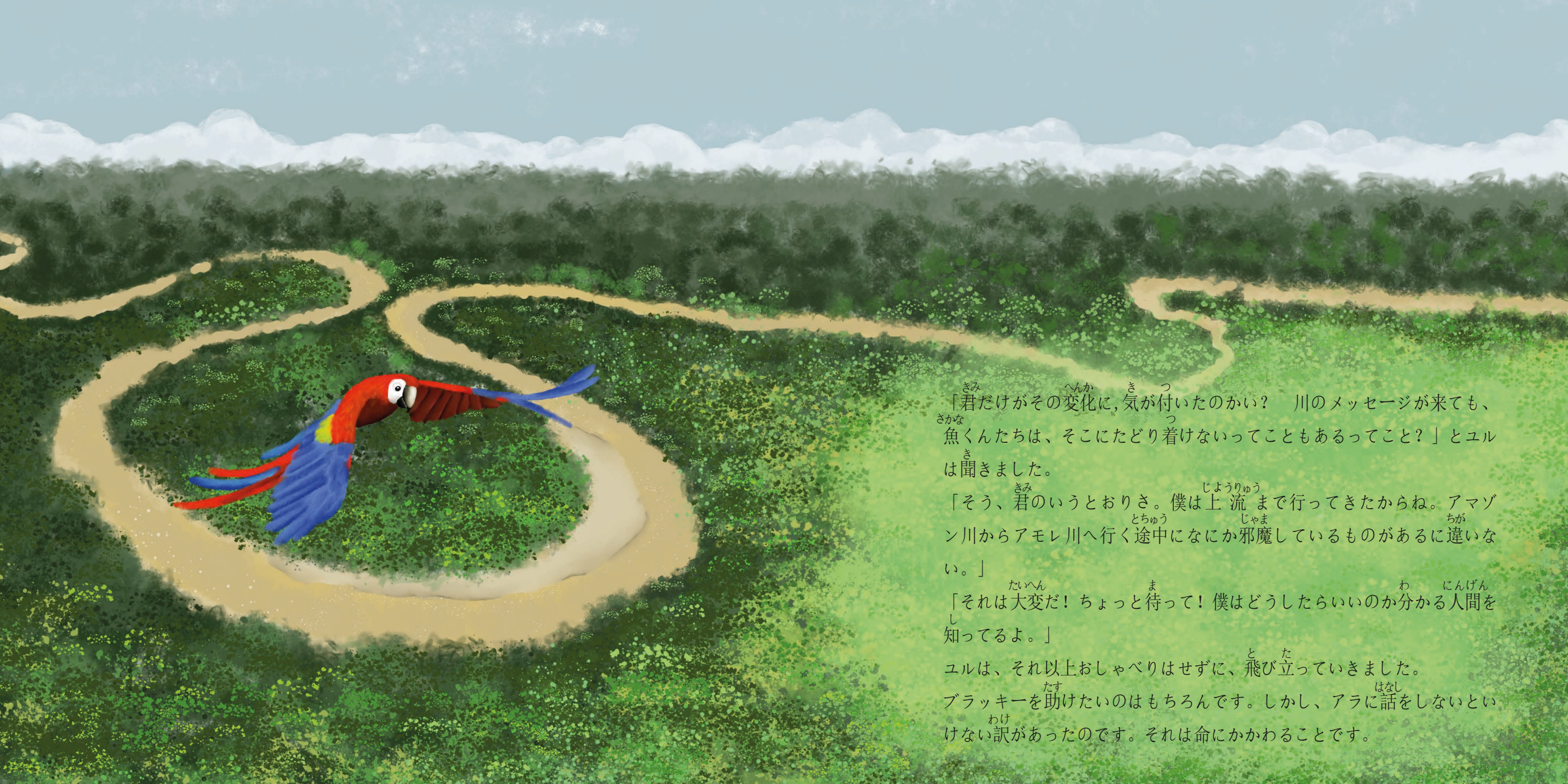
「あのね、毎年、雨^{まいとし}の季節^{あめ}になると川^{きせつ}の水^{みず}がふえて、平野^{へいや}にあふれだすんだ。その水^{はこ}は下流^{かりゅう}の川^{へいや}や平野^たに食べ^{はこ}ものやタネ^{はこ}を運^{おん}んでくれるんだよ。その水^{かこう}が河口^{ぼく}までとどくと、僕^{おん}たちは水^{おん}の温度^{おん}や運^{おん}ばれる土砂^{どしゃ}の変化^{へんか}を感じる^{かん}ことができるんだ。それが子供^{むか}をつくるために上流^{およ}流^{じょうりゅう}へ向^{むか}かって泳^{およ}げというメッセー^{こた}ジなんだよ。」

とブラッキーが、答^{こた}えました。

「子供^{こども}をつくるためにブラジルやボリビアを横断^{おうたん}するって？ なんてすごい旅^{こども}なんだ！」

ユルはびっくりしていいました。

「水^{みず}の流れ^{なが}がすごく速^{はや}い川^{げんりゅう}の源流^{げんりゅう}近く^{げんりゅう}にまでたどり着^つくには4千^{よんせん}キロメートル以上^{いじょう}の旅^{たび}をしなければいけないんだ。でも、そこまで頑張^{がんば}って行^いっても、そこにメス^うが産^うんだ卵^{たまご}がなかったら何^{なん}の意味^いもないんだ。これは、素晴^{すば}らしいアモレ川^{すば}がなくなるってことなのかもしれないなあ。」



「君^{きみ}だけがその変化^{へんか}に、気^きが付^ついたのかい？ 川のメッセージが来ても、魚^{さかな}くんたちは、そこにたどり着^つけないってこともあるってこと？」とユルは聞^ききました。

「そう、君^{きみ}のいうとおりさ。僕は上流^{じょうりゅう}まで行^いってきたからね。アマゾン川からアモレ川へ行^いく途中^{とちゅう}になにか邪魔^{じゃま}しているものがあるに違^{ちが}いない。」

「それは大^{たい}変^{へん}だ！ ちょっ^まと待^{まち}って！ 僕はど^どうし^したらいいの^のか分^わかる人^{にん}間^{げん}をし^し知^しってるよ。」

ユルは、それ以上おしゃべりはせずに、飛^とび立^たっていきました。ブラッキーを助^{たす}けたいのはもちろんです。しかし、アラに話^{はなし}をしないとい^いけ^けない訳^{わけ}があ^あったのです。それは命^{いのち}にかかわることです。

アラもユルと同じ、七色^{なないろ}のコンゴウインコで、冒険^{ぼうけん}好きで
勇敢^{ゆうかん}です。

アラは着地^{ちゃくち}に失敗^{しっぱい}した時に、助け^{たす}てくれた人間^{にんげん}と友達^{ともだち}になりま
した。アラの片方^{かたほう}の足^{あし}には指^{ゆび}が2本しかありません。

その人間^{にんげん}はホセといい、イチロ川^{りようし}の、漁師^{かれ}でした。彼はアモレ
川の土手^{どて}の近く^すに、住^すんでいました。アラはいつもホセの近く^{ちか}
にいました。



「^{ちゃくりく}着陸の^{きよか}許可を^{のぞ}望んでいる^{とり}鳥で～す！」

ユルはアラが^と止まっている^{えだ}枝に^{ちか}近づき^なながら^{おおごえ}大声で^{さけ}叫びました。アラは^{わら}笑って^{よこ}横に^{すこ}少し^{うご}動いてあげました。

「今日はこのアモレ川の^{きしべ}岸辺に^{ようじ}どんな用事できたの、ユル？」

アラははっきりと、でも^{きようみぶか}興味深そうに^き聞きました。

「^{うつく}美しい川が大変なんだ。^{だいじ}大事な^{しめい}使命があるんだ。」

ユルは、ナマズに^{たいへん}大変なことが起きていることをアラに^{はな}話しました。

「それは^{たいへん}大変だわ。ホセに^{つた}伝えなくっちゃ！」

アラははっきりとした声で言いました。

ホセが、^{じようりゅう}上流にナマズがいないと^{さいきん}最近ずっと^{ふまん}不満を言っていたからです。



じょうりゅう およ 上流を泳いでいたのは、3歳^{さい}のナマズで、彼女^{かのじよ}の名前^{なまえ}はイアラ。水^{みず}のレディという意味^{い み}です。イアラはだんだん^{もくてきち}目的地に近づいていることを感^{かん}じていました。

イアラはもうほぼ5ヶ月も上流^{およ}に向かって泳いで来たのです。アマゾン川、マデイラ川、マモレ川、イチロ川と、河口^{かこうちか}近くで生まれた時^{とき}とは逆^{ぎゃく}のコースをさかのぼってきました。イアラは幸運^{こううん}にもマデイラダムが完成^{かんせい}する前^{まえ}に川を上ることができました。

イアラはもうマモレ川にはいなかったのです。イアラはイチ^{なが}ロ川に着いていていたのですが、イチロ川^{はげ}の流れはとても激しくて、その流れをさかのぼるのはとても大変^{たいへん}でした。





ホセはただ、メスのドラドナマズを見つけて上流で
ブラッキーと会うように頼みたかったのです。彼は網をお
いて、待ちました。

イアラがホセに出会うまでに、時間はかかりませんでした。
イアラが網を見つけると、ホセはうまいぐあいにイア
ラを自分の方に引き寄せました。

ホセは、いつも釣りをする場所に
行ってみました。アラはいつも近くを
飛んでいます。ホセは、釣り針と餌は使わない
ことにしました。もうドラドナマズを釣りたくなかったからで
す。ただ、見つけたかったのです。



「私はアラよ。」

ホセがイアラを引き寄せるとアラが言いました。

「私はあなたを探している誰かさんを知ってるの。ホセと私はその彼を助けようとしているの。」

アラは思ったより緊張していました。ブラッキーのお相手を探すという大きな出来事を見逃したくなかったからです。

何故なら、ブラッキーは上流にいるたった1匹のオスのドラ

ドナマズなのです。

「あなたは私に何をしたいの？ 私は卵を産むために、もう少し上流に向かっていたところなの。」

水のレディー・イアラは、コンゴウインコと漁師という変わったカップルに聞きました。

「あなたはブラッキーがここまで^{のぼ}って、^く来るのを^ま待たなければ
いけないの。ドラドナマズはもうあなたたち2匹^{ひき}しかいないのよ。」
アラはもう必死^{ひっし}にイアラに^{たの}頼みました。そして、ユルのいる所
まで^と飛んで、ユルにも^{たの}頼もうと決めました。

ユルならブラッキーのいる^{ばしょ}場所を見つけれれると思ったのです。
アラが^と飛んで^い行った^{あと}後、ホセはイアラが^{たび}いい旅ができますよ
うに、そしてブラッキーと^{もど}ここに^あ戻ってくるときにも、また会
えますように^{いの}と祈りました。



「コンゴウインコのユルは、七色のオウムで、ナマズの友達
で、おせっかいな鳥よ！」

こうつぶやきながらアラは、ユルは私の未来のパートナーと
決めて、ユルのいるほうに向かって飛んで行きました。

ユルは、アラの友達イアラの話を聞いて驚き、うなずくと、
ブラッキーに会うためにアラと一緒に飛んで行きました。



「君は^{しん}信じないかもしれないけど。10キログラムの小^さな魚^{かな}くん。」とユルはブラッキーに言いました。
「え？ 僕^{ぼく}が何^{なに}を信じないって？ インコくん。」
「つまりね、君^{きみ}はイチロ川^{もど}に戻^{もど}らなければならないんだ。
君^まを待^たっている誰^{だれ}か^{こた}さんがいるんだ。」とユルが答えます。



「ナマズさん！ 私たちはドラドナマズのイアラを見つけたの！ 彼女^{かのじょ}がイチロ川であなたを待^まってるわ。」
アラが、ユルが話^{はな}し出したことを最後まで話^{さいご}しました。





数日後、ユルとアラは再び会って、水の中の卵を見つけました。そしてそのあと、マモレ川で小さなドラドナマズたちも見つけました。それはイチロ川で生まれた最後のナマズの子供たちだったのです。

ホセは、ナマズがいなくなってきたという事実を報告できる町の議会を見つけました。

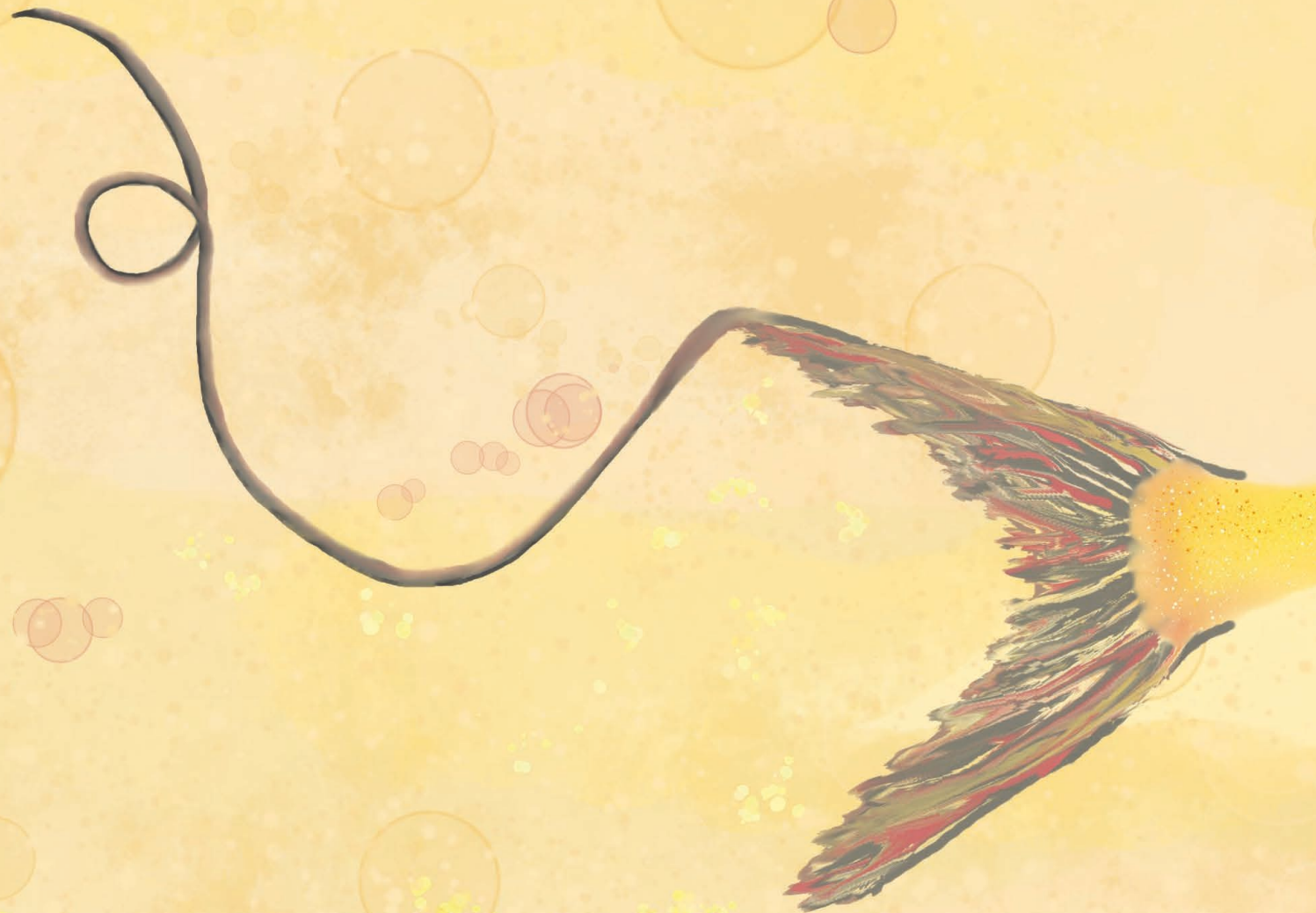
ホセは心配していることをやっと伝えることができ、その返事をもらうことができたのです。

川からのメッセージは、マモレ川から河口にはもう届かなくなり
ました。マデイラダムがあるため、魚たちはマモレ川を
さかのぼろうとしても出来ないのです。

川はもう失われています。ダムは魚が移動することを許しま
せん。ダムは堆積物を、溜め込み、平野で川があふれることを
妨げます。

イチロ川で最後にナマズが捕らえられたのは2019年です。

それがわかった今、私たちは川をまもるためにできることを
する時なのです。



知ってましたか？

ユラカレ族、またはユルハレ族は、ボリビア・アマゾンのイチロ川上流域に生存していた先住民族です。ユルという名前は、この居住地に対する賛辞です。

アラマカオはボリビアの七色のコンゴウインコの学名です。私たちのアラはそこから名付けました。

ドラドナマズの学術名は *Brachyplatystoma rousseauxii* です。だから私たちはブラッキーと呼んでいます。

自由に流れる川

川の連続性には、4つの視点でみた連続性があります。高い所から低い所への連続性。

すなわち、水、養分、土砂は下流に流れ、魚は上流に遡上できることです。

横方向の連続性：水は水路からあふれ出て平野に氾濫し、栄養分を平野に供給し、更には下流へ戻る間に小さなドラドナマズの餌になるものを取り込んで水路に戻ってきます。

垂直的な連続性：河川水は地下水に浸透し、水循環の一部として帯水層に供給されます。

季節的な連続性：川には毎年の洪水のサイクルがあり、そのリズムに多くの生物が依存しています。

用語：

支流：川の水を本流または主要な河川に運ぶ二次的な川のこと。

カンデイルフィッシュ：アマゾン流域に生息する淡水肉食魚、*Vandellia cirrhosa*.

連続性：接続性や接点、または関係を作り、維持する能力。

河口：川の水が注ぎ出し、別の川や湖、海に流入する場所

ドラドナマズ *Brachyplatystoma rousseauxii*: オオナマズ科の淡水回遊魚。長距離回遊魚である。ペルーのいくつかの支流（ウカヤリ川）では約12,000kmを往復移動するので、淡水では最大の移動面積を持つ回遊魚と知られている。ブラッキーとイアラが会合するマデイラ盆地では、8000キロに及ぶ回遊となる。

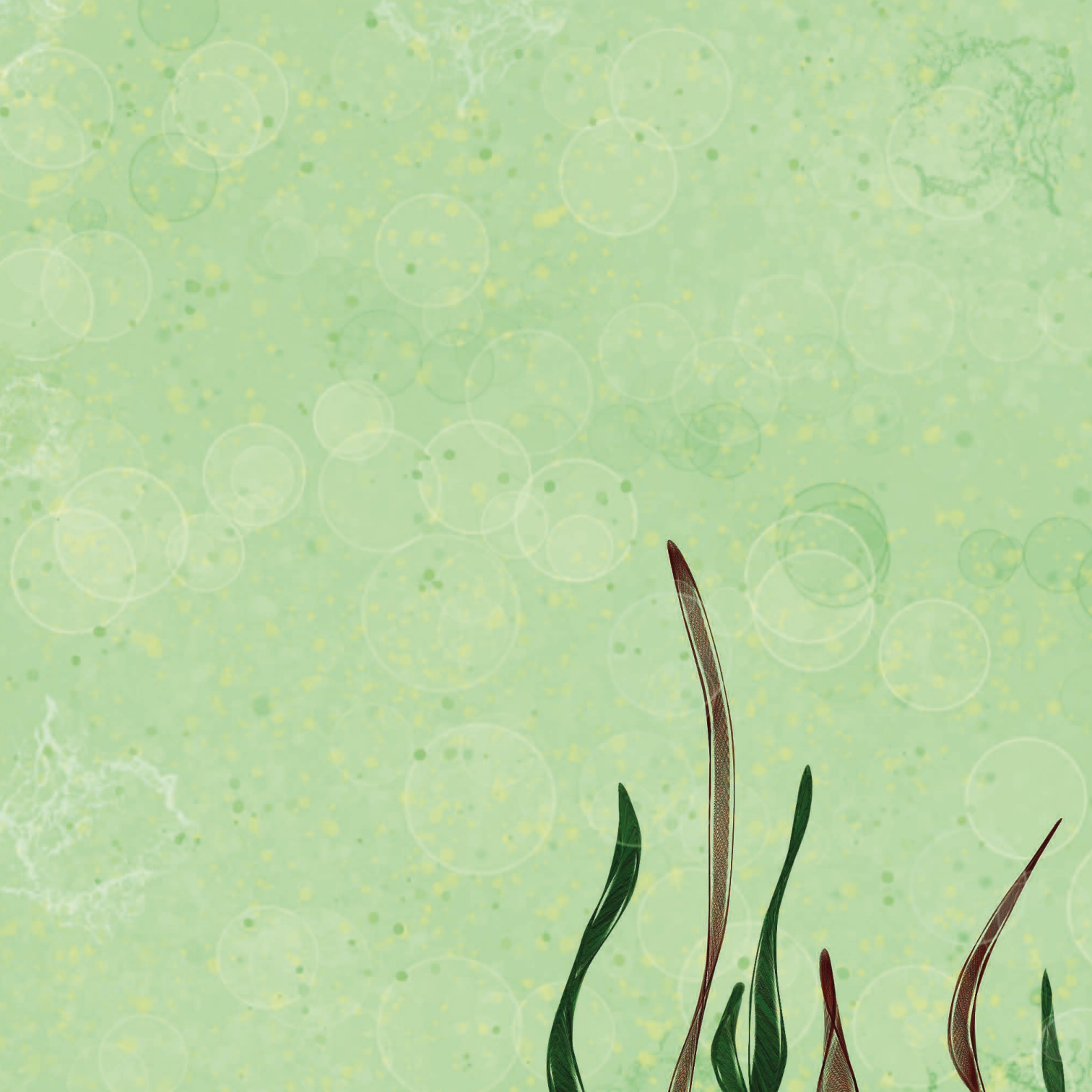
受精させる：生命の誕生またはその発生を促進すること。受精卵とは、メスが産み、オスが受精させた卵のこと。

コンゴウインコ：スカーレットコンゴウインコ。*Ara macao*. ボリビアでは、七色の大インコとして知られている。

キナノキ:*Cinchona officinalis*. アンデスの木で、高さが15メートルを超えることもある広葉樹。樹皮にはキニーネ（マラリアの薬として利用される）が豊富に含まれており、貴重なものとなっている。キニーネはこの木を有名にしたが、同時に運命をも変えた。アメリカではほぼ絶滅した木。

ダム：水をせき止めて水位を上げるために建設されたコンクリート製の障壁で、発電や水の供給のための貯水池をつくる。

堆積物：雪解け水や雨水に溶け込んだ泥と固体粒子のことで、川の流路全体に広がる。



川のメッセージが、マモレ川からアマゾン川の河口まで届かなくなりました。2匹のボリビアコンゴウインコのユルとアラは、ドラダナマズのブラッキーとイアラがマモレ川の上流で出会えるよう助けようとしています。

このお話は、自由に流れる川の大切さと川の繋がり不思議を発見させてくれます。ドラダナマズのライフサイクルと川のメッセージの秘密を学びましょう。

彼らの生活のすべてが、川にかかっているのです。

私たちのYouTubeチャンネルにはこの本のオリジナル曲もあります。BocaAbajoEdiciones

ISBN 978-84-122711-5-7



Boca Vbajo 
ediciones

